

ラベンダーだより 第15号

香住ヶ丘リハビリ訪問看護ステーション

福岡市東区香住ヶ丘一丁目7番5号

TEL : 092-674-0202 FAX : 092-673-0018

E-mail : noda@k-kasumigaoka.com

大寒を迎え、寒さが厳しさをましております。当事業所は2024年2月で開設10周年を迎えることになりました。これもひとえに皆様方のご協力、ご支援あってのもので心より感謝しております。さて、今回は言語聴覚士の特集となっています。食べる・飲み込むことの他、小児の分野では言葉の理解やコミュニケーション訓練を行うなど、活躍は教育の場まで広がっています。当事業所の言語聴覚士の様子を載せていますので、ぜひご一読ください。



24時間・365日
「安心と癒しの看護」
「充実のリハビリテーション」

☆☆☆言語聴覚士特集☆☆☆

リハビリには理学療法士、作業療法士、言語聴覚士と3つの種類があります。

今回は、おそらく比較的認知度が低いであろう「言語聴覚士」についてその活躍を特集し、掘り下げていけたらと思います。はたして彼らはいったいどんな仕事をしているのでしょうか？

言語聴覚士とは読む・書く・聞く・話すなどのコミュニケーションに関わるリハビリや摂食・嚥下などの飲み込みに関わるリハビリを主に専門としている職種になります。

当事業所では「成人」と「小児」のご利用者に関わらせていただいています。

「成人」の部門で多く関わらせていただいているのが摂食・嚥下障害の方々です。

嚥下機能の低下は、食物や液体を喉から胃へと適切に送ることが難しくなる状態を

指します。これは口や喉の筋肉の弱化(加齢によるもの)や神経機能の障害が原因となります。



【こんな症状ありませんか？】

以下のチェック項目に当てはまる方は嚥下機能が低下している可能性があります。

- ☐ 食べ物や飲み物を噛む事や飲み込むことが困難である(よくムせるようになった)
- ☐ 喉に詰まりやすくなり、窒息感を感じる。
- ☐ 食事の時間が以前よりも長くなってきた。
- ☐ 食べる量が減り、体重が減少傾向にある。

嚥下障害の怖いところは大きな病気をしていなくても**年齢を重ねることでも生じる**可能性があるというところにあります。誰しもが年齢とともに筋力が低下し、足腰が弱くなることを実感しますが、それらが口腔や喉頭などにも同様に生じてくるということはなかなか知られておらず、自身の目で確認困難なため実感しにくいようです。そのため嚥下が上手く行えず誤嚥性肺炎となる方がここ数年かなり多くなってきているようです。

【どんなリハビリをしているの？】

食事の様子を観察して現在の嚥下機能の評価を行った上で、適切な食事形態の検討や助言を実施。嚥下機能を維持していく上で嚥下体操や嚥下筋の強化訓練、呼吸・発声訓練などを行っています。



【予防方法はない？】

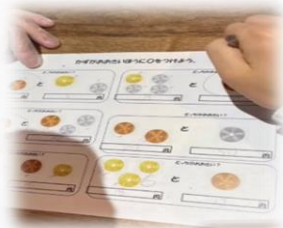
実際にリハビリでも行っている嚥下筋強化訓練、通称「おでこ体操」は嚥下機能を維持する上でとても効果的です。また、口腔や喉頭の機能を効率的に維持していく上で効果が高いと言われているのが**歌を歌うこと**です。今現在飲み込みに問題ない方などに対しては機能維持のためにカラオケなどで歌を歌うことは専門のお医者様もかなり推奨されています。

小児

「小児」の分野では、主に発達障がいの子どもの多くを担当しています。発達の遅れに伴った言語発達遅滞や構音障害(滑舌が悪く聞き取りにくい言葉がある状態)の子どもたちの評価や訓練を行っていますが、中には言葉の発達には問題はないが社会性が乏しく他者との交流が苦手な方や、読み書きを苦手としている学習障害の方もいます。また、様々な特性が要因となって不登校となる子どもも最近は多く、そういった子たちとご家族に対して療育とサポートも行っています。

【買い物支援の練習と多職種連携の事例】 (例: 買い物から調理して試食するまでを一緒に行います)

- ① お金の確認! (ST) ② 実際にスーパーまで行き、支払いも自分で行います! (PT)



- ③ 購入した食材を使って ④ 火加減も調整します! (OT 調理スタート! (OT



コミュニケーション能力をアップし社会性の向上を目指す子どもに対して、言語聴覚士は買い物を想定したお金の計算を指導しています。お金が何を意味するのか、計算は少額から始めて、お金の合計や金額の大小などをアドバイスします。

ここで多職種連携です。理学療法士や作業療法士と関わりを役割分担し、理学療法士が実際にスーパーまで行き、商品を選んで会計までできるように支援します。また、作業療法士は購入した食材で一緒に調理を行うなど、多職種が連携し、リハビリが実生活に活きるようにサポートしています(^o^)!!

🌸 緩和ケア研修会を修了しました 🌸

厚生労働省による「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会」に診療に携わる医療従事者として当事業所から看護師4名が研修を修了しました。e-ラーニングを受講し、その後の集合研修でのグループワークでは多くが医師の中で本領を発揮することができました。日々の業務に生かして、利用者様へ還元していきます!



☆新入職員紹介☆

急性期病院で勤務していた際、様々な患者様と関わる中で退院後の生活が重要であるということを感じる部分が多くありました。私も何かサポート出来ることはないかと思い、訪問看護師として働くことを決めました。

前職では心臓血管外科・循環器病棟で働いており、心電図検定1級を取得しています。その経験を活かして心不全や不整脈等の循環器疾患をはじめ、様々な疾患での異常の早期発見に繋げていきたいと思っています。利用者様が在宅生活をより安心して過ごすことができるように多職種で連携し支援していきたいです。

看護師



総合病院、大学病院で主に急性期を中心に18年勤務してきました。外来、透析室勤務歴もあり、子育て支援員の資格も取得しています。

これらの経験を活かして限られた時間の中でも出来る限りのケアを行い、次回訪問まで安心して過ごしてもらえるかを常に考えていきたいと思っています。

看護師



作業療法士: 常勤・非常勤 『在宅リハビリに興味のある方(経験不問)』

一緒に働く仲間を募集!

詳しくはホームページやInstagramなどを参照してください。

☆子育て世代も多数在籍☆家庭と仕事を両立して頑張っています!!

